

第4回六郷小学校区地元代表者協議会 会議録

1 日 時 令和5年7月26日（水）18時30分～19時30分

2 場 所 六郷コミュニティセンター ホール

3 出席者 (1) 委員 11名  
(2) 事務局 教育指導部長 山口 玲子  
教育総務課長 石黒 龍実  
学校教育課長 植木 修  
学校教育課 適正規模・適正配置推進主幹 森谷 純  
学校教育課 主事 渡邊 亮  
学校教育課 学校教育専門員 岩倉 由美

4 内 容

- (1) 開会
- (2) あいさつ (会長)
- (3) 協議
  - ①会議録の承認について
  - ②統合のあり方に関する意見について
  - ③今後のスケジュールについて
- (4) その他
- (5) 閉会

(3) 協議について

(会 長) 初めに「会議録の承認について」説明をお願いします。

《 事務局から説明 》

(会 長) 以上の説明について、質問はいかがか。

《 質問なし 》

(会 長) 会議録を承認しました。次に、「統合のあり方に関する意見について」説明をお願いします。

《 事務局から説明 》

(会 長) 六郷学童クラブについては、統合小学校が令和9年度から開校することありますので、3地区の学童クラブの代表者が集まって1月に市長と教育長に要望書を提出させていただきました。新しい統合小学校の施設内に学童クラブ施設を設けて欲しいという要望書です。行政の方もタイムテーブルもあって、実は、この間、3地区の学童クラブの代表者、現在は、それぞれ学校単位に運営委員会を設けて実施しているわけですが、統合した場合には、受け皿となる組織を作りたいというようなことがありました。具体的には、NPO法人を組織するということがありました。法人格をもった組織にということでした。NPO法人にするとしても大変だっという意見がございました。それを立ち上げるための準

備会をこの秋までというか、1年かけて作っていかうというふうになっております。行政が本腰を入れているということがわかりましたので、それに向けてこちらの組織づくりも順次進めていくということになるかと思えます。

(委員) 教育委員会は、どのように認識しているか。

(事務局) 学童クラブに関して、統合小学校となる学校施設の中というご要望は聞いております。窓口となっている子育て支援課から情報をいただきながら教育委員会の方でも検討を行っております。レイアウトやどのような団体が運営されるかについては、今後、子育て支援課の方から進捗について、詳しく聞きたいと思っています。

(委員) 学童については、公設でやってほしいということである。

(会長) この要望の中に学童については入れなくて良いということですか。

(委員) いや、学校施設の中に設置してほしいということくらいは入れてほしい。

(事務局) 現時点では、学童クラブについて、要望ということではお聞きしております。3地区からの要望ということも承知しておりますが、具体的に、小学校としての教室の配置、小学校として校舎をどのように使うのかの検討を進める必要があります。そうした検討の中で、小学校の子ども達にとって大事にすべきことを考えた上で、余裕スペース、余裕教室があるのかというところを含めて判断することになるのではないかと考えています。

要望は要望として承った上で、具体的にどのようなスタイルで学童クラブを設置するのかについては、子育て支援課の考え方を確認していきたいと思っています。

(事務局) 補足ですが、学童クラブについて要望書を頂戴しておりました。統合小学校の施設内に学童施設をとという内容の要望書になります。今回の意見書を取りまとめいただく際にもそれを前提として意見を添えていただくということによろしいでしょうか。まず、その部分を先に確認させていただき、それによろしければ、次に、どのような文言とするのが良いのか、先ほど言っていたように、施設内に設置してほしいというようなストレートな表現で端的に記述していただくというのも一つの方法だと思います。また、教育総務課長が申し上げたとおり、どういう整理の仕方ができるかっていうのは、今後、行政で責任持って検討していくということですので、前提として、意見書にどの程度まで表現していくのかという部分について検討していただければと思います。

(会長) それでは、学童クラブを統合小学校の中に入れて欲しいという文言を入れるということによろしいですか。

(委員) 子ども達の安全、保護者の送迎の利便性を考えて、できるだけ学校近くに、それが敷地内であれば理想的ということ、そこまで踏み込んだ表現で要望を出しても教育委員会としては問題ないですか。

(事務局) 意見書にどのように記載するかについては、ベースになるのは、先ほどお話の

あった、既に頂戴しています学童クラブに関する要望書だと思いますので、その要望書の範囲でどのように表現していただいてもよろしいかと思います。

(委員) だとするならば、3地区で統合小の施設内に設置していただきたいという要望はしている訳ですので、それを入れるということと、あと3地区一緒の学童クラブを設置していただきたいという、この2点を入れてもらえば良いと思います。

(会長) 今、御意見がありました、そのような内容で文言を入れてもらうということでもよろしいですか。それでは、そのようにいたします。

(事務局) 後ほど、文章の表現について確認させていただきたいと思います。

(会長) その他、統合のあり方について御意見ありませんか。

(委員) 前にもちょっとお話をさせていただいたんですが、統合が終わった時点で、一応、検証するということが大事だと思うので、3年後とか5年後とか、時期はわかりませんが、ぜひ検証をしてほしいと思う。

(事務局) 検証というのは、具体的に何についての検証でしょうか。

(委員) たとえば給食施設に限ると、それでよかったのか、不具合が出る場合もあるわけなので、良かったということもあるかもしれないが、そういう検証する機会を必ず設けてほしいと思います。

(事務局) 意見書の方に表記するかどうかということで申し上げますと、今、共同調理場に限ってということでしたので、共同調理場に限って申し上げると、直接、統合には関係していないということになります。ただ、施設整備としてその効果を検証するということになると、整備する教育総務課長から説明があると思いますが、統合のあり方についての意見書に共同調理場の検証や効果というところを載せるとなると、どういう意味合いなのかかわかりにくくなるかと思います。ちょっと馴染まないような気がします。そのことについては、共同調理場の整備の観点から検証するといった議論をしていただく方がわかりやすいのかなと思ったところです。もし、意見書に載せるとした場合には、どのような書きぶりにするかというところは、委員の皆様で御協議いただいて、御指摘いただければと思います。

(委員) 資料3の意見書案では、統合においてっていう文言が入っているんで、検証するということで何ら差し支えないのではないかと。

(事務局) この意見書については、学校と学校が統合することに関して、そのあり方とか統合の進め方について取りまとめをさせていただいているものです。1の統合のあり方に関しては、統合にあたって注意や配慮していくべきことを、2のその他の意見については、あくまでも学校の統合に関してのその他の意見をということで整理していただくこととしております。共同調理場が統合小学校の隣に整備されることは間違いないのですが、統合小学校の学校施設の改修整備であれば、学校と学校の統合と直接かかわってくるのですが、調理場を建てることは、直接的には統合に関わることではないので、この統合に関する意見書に入れるとする

と、どのような表現が適当なのか、ちょっとイメージがつかなかったのでお聞きしたところです。

(委員) 今、学校の施設ではないって言うようなお話でしたけれども。基本的には小学校には給食室を作るって言うことが前提にあるわけですよ。理科室や図書室と同じように、必須のものだったと感じている。いつの間にかその調理場を別に作るようになった。共同調理場についても、業者に発注して運営するって言うことになるかと思うんですが、そのことに関してはもちろん、共同調理場のこともそうですけれども、統合してどうだったのか。そういうことも検証の対象としなくちゃならないことじゃないのかなというふうに思います。いかがでしょうか。

(事務局) 検証という話をいただいておりますけれども、具体的に何を対象にどのような検証を想定するのかは、色々な考え方があるのかもしれませんが、年度ごとに予算を使って共同調理場から給食を提供することとなりますので、議会の決算委員会の中でチェックも入りますので、それをもって検証していただくことにもなるかと思えます。

(事務局) 統合にあたっては、当然、統合後、統合の状況がどうだったかということは、振り返りをさせていただいております。それを前提とした上で、今回の統合にあたって、六郷小学校区地元代表者協議会として心配される部分として、統合そのものと、施設整備について、今回は、共同調理場が統合小学校の隣に整備されるということで、それも含めて振り返りとして、効果があったか、問題がなかったかを検証をして欲しいとするならば、1番よりも2番の方に記載するのが良いのかなと思います。その方が、違和感はないかなと思います。

なお、意見書案の全体を見ていただいて、違う形の方がよろしければ、それでももちろん結構です。具体的にどのようにでも修正をいたしますので、全体で確認していただければと思います。

(委員) 小学校での給食は、自校給食であるというのが基本方針の中にあるわけだが、今回は、統合小学校については、共同調理場から提供する形に変更になっているので、子ども達にどのような影響があるかについて検証を1年、2年経ったところであるということ。例えば、給食をつくってくれた人に挨拶ができないとか、食のありがたさを子ども達に伝えきれないとか、そういうふうな部分の検証をしながら、また、地元食材を使って地元の農産物を提供するって言うふうな話にはなっているけれども、それが子ども達に伝わっているのかという部分の検証は、すべきかなって言うことだと思う。これはいわゆる小学校として自校給食から共同調理場から提供する形に変わったって言うことのその違いについては、検証していく必要があるんじゃないのかなと思うし、どこかに文言を入れていただければいいのかなあと思う。

(事務局) わかりました。今おっしゃっていたことについて、どのように記載するかにつ

いて、後ほど、確認させていただければと思います。

(委員) あまり学校給食調理場にこだわってしまうと、これは、あくまでも統合小学校に関する意見書だと思imasので、それよりはもっと大きく括って、統合した後に、やっぱりその振り返りをしっかりして欲しいところだと思うんです。

だからやっぱりそこを文言としてどう入れるかってのもこれから我々が考えなければならぬんですが、あんまり共同調理場と言ってしまうと、先程から言っているとおりに、馴染まなくなると思imasので、大まかな形で良いのではないかと思imasがいかがでしょうか。給食に限らず、例えば、プールどうするのかとか、通学方法はどうなるのか、スクールバスの運行事業者はどうなるのかとか、それ以外にもいろんなものは出てくると思うんです。そういったことを後で検証する機会をつくりましょうという形で要望させていただければ良いのではと思imas。

(会長) 皆さん、よろしいですか。それでは、今の御意見のような方向で記載させていただきたいと思imas。統合のあり方に関して、その他に皆さんから、意見あればお願いしたいと思imas。

なければ、統合のあり方に関する意見については終わりにしたいと思imas。

次に、事務局から意見書案についての最終確認をお願いします。

(事務局) 修正することとなった箇所は、2か所だったと思imas。一つ目は、統合小学校の施設内に学童クラブをというところをどういうふうに表現するかというところで、その部分について、仮の文案を申し上げます。「統合小学校の施設内に、六郷、広幡、塩井の3地区合同の学童クラブを設置してほしい。」シンプルなんですが、このような表現はいかがでしょうか。

(会長) みなさんよろしいですか。では、そのようにいたします。

(事務局) それでは、「統合小学校の施設内に六郷、広幡、塩井の3地区合同の学童クラブを設置してほしい。」と追加させていただきます。

もう一つは検証に関わる部分になりますが、具体的にこの部分についての検証をというふうに指摘する御意見と、統合に関してもう少し大きく括って、様々な取組について振り返りや検証をしてほしいとした方が良いのではという御意見があったと思imas。事務局として、大括りの表現とした場合の仮の文案を考えてみましたので、よろしければ申し上げます。

(会長) お願いします。

(事務局) 「統合に向けた各種取組について、統合後において、その効果等を検証してほしい。」といった表現はいかがでしょうか。

(会長) みなさんいかがでしょうか。

(委員) 良いと思imas。

(委員) そのようにした場合、統合までのプロセスについての検証なのか、統合して何年目かにプロセスを含めた効果の検証となるのでしょうか。

(事務局) この文案では、「効果」という表現をしています。「効果」というふうに申し上げているので、プロセス云々よりもどちらかという、結果を検証することを前面に出したような意味合いになるかと思いますが、読み方によってはどちらの意味にも捉えられると思います。

(会長) そのような形でよろしいですか。それでは、そのようにしてください。

(事務局) それでは、本日の意見書案について、ただ今御確認いただいた内容で修正をさせていただきます。

(会長) 次に、(3)の「今後のスケジュールについて」説明をお願いします。

《 説 明 》

(会長) みなさんから質問等ありませんか。なければ事務局へお返しします。

(事務局) それでは、ここで会長、副会長様から御挨拶を頂戴したいと存じます。

(会長) 5か月ちょっとの地元代表者協議会でしたが、皆さんの御協力のもと無事終了できました。本当にありがとうございました。

(副会長) やっぱり地域から小学校がなくなるってことは地域が変わってしまうっていうことだと思う。小学校が一つになっても、地域三つは三つのままだと思う。これから色々な部分で議論することになると思います。でもやっぱり時の流れっていうか、時代の変化っていうものに対応していかないといけない。今日も民族資料館で話を聞いたが、昔の文化も大事にして子ども達に伝えていく。そういうふうな部分はみんなで共有しながら、みんなでカバーしていくというスタンスが一番大事なんだと思う。

統合したから後はしょうがないといったようなスタンスにならないように、やっぱり保護者の方々にも地域の文化とか今までの六郷小学校を大事にしていこうという気持ちを持ってもらえれば、何とか乗り切れるのかなって感じもしましたので、今後、統合に向けていろんな会議もあるかと思いますが、この度、皆さんに御協力いただいて何とか閉校に向けての協議が出来たのは良かったと思います。今後ともよろしくをお願いします。

(事務局) 以上で本日の地元代表協議会は終了とさせていただきます。あわせて、六郷小学校区地元代表者協議会の会議日程も終了とさせていただきます。今後、統合に向けて開校準備委員会を立ち上げることとなりますが、地区の皆様、保護者の皆様をはじめ関係者の皆さまにお力をお貸しいただきながら進めていくこととなりますので、その節はどうぞよろしくお願ひいたします。これをもちまして六郷小学校区地元代表者協議会を閉じさせていただきます。誠にありがとうございました。